

共済事業プラン2017

～笑顔で迎える2020 元気・健康・安心をあなたに～



年金相談



医療費等の給付



シティ・ホール診療所



スポーツクラブ



森林セラピー



箱根路開雲



清瀬運動場



アジュール竹芝

平成 29 年 3 月



東京都職員共済組合

共済事業プラン2017は、都共済ホームページにも掲載しています！

詳細はこちら!

都共済



で検索

<https://www.kyosai.metro.tokyo.jp/>



共済事業プラン2017の策定

東京都職員共済組合では、今後の共済事業を効果的・効率的に進めていくための指針として、平成29年度を初年度とする4か年の事業推進計画を策定しました。

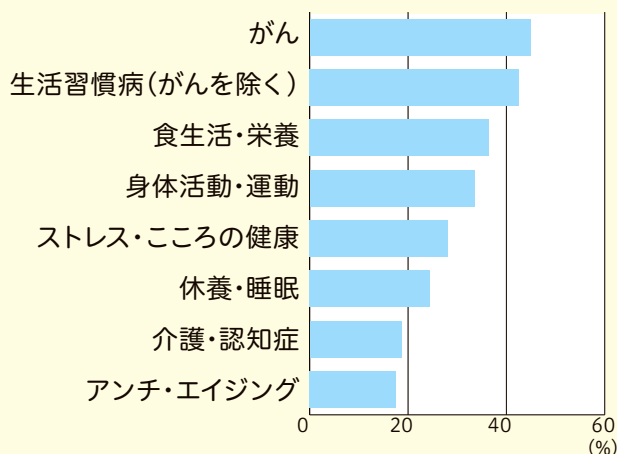
計画期間中、組合員とその家族一人ひとりが元気でいきいきとした毎日を送ることができるよう、皆さんの安心と健康生活をサポートする施策を積極的に展開します。

都共済は、組合員と被扶養者、そして年金受給者を結ぶ懸け橋として、また都庁や区役所そして消防署など組合員が働く職場を結ぶ懸け橋として、皆さんの期待と信頼に応えるとともに、その使命を着実に果たしてまいります。

コラム
column

組合員意向調査の結果（抜粋）

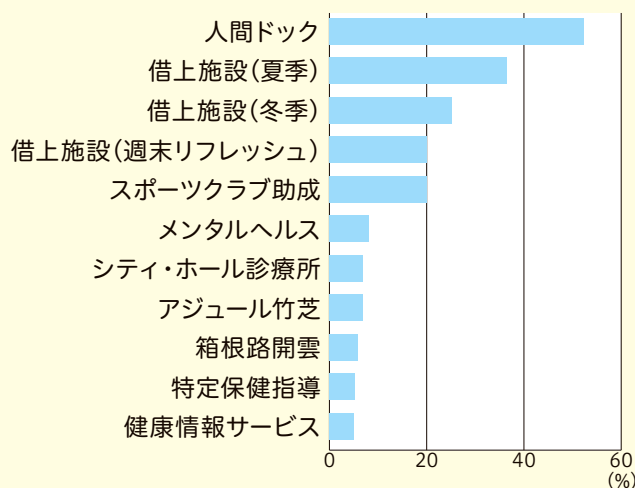
■ 興味のある健康課題（複数回答）



興味のある健康課題として多かったものは、「がん」や「高血圧・糖尿病・脳卒中などの生活習慣病（がんを除く。）」であり、いずれも4割以上の方が、興味があると回答しています。

次いで、「食生活・栄養」や「身体活動・運動」が続いています。

■ 充実して欲しい事業（複数回答）



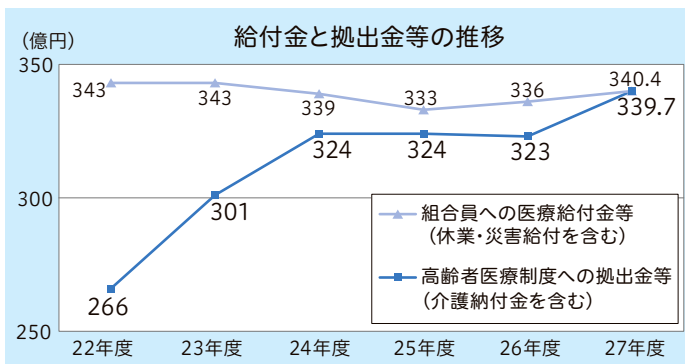
共済組合が行っている福祉事業のなかで、充実して欲しいと多く回答があったものは、「人間ドック」や「借上施設（夏季・冬季・週末リフレッシュ）」などでした。

「借上施設（夏季）」については、平成28年度から、要望の多かった北海道、中国・四国、九州・沖縄地区の借上げをスタートさせました。

事業の現状と課題

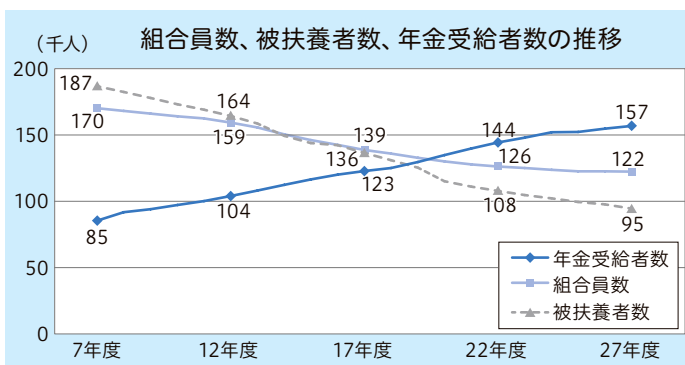
■ 短期給付事業 | 一人ひとりが医療費の現状に関心を持つことが重要です

- 短期給付事業の収支は、高齢者医療制度への拠出金等の増加や後期高齢者支援金の全面報酬割導入の影響等により、今後一層の支出増が見込まれています。
- 医療費適正化の取組として、後発医薬品の普及啓発、療養費請求や重複頻回受診の適正化などの取組を行っています。



■ 長期給付事業 | 年金受給者数が組合員数を大きく上回っています

- 平成20年度に年金受給者数が組合員数よりも多くなり、以降は、この傾向が拡大しています。
- 組合員の減少に伴い、掛金・負担金収入が逡減する一方で、年金受給者が増加し、年金給付支出は逡増傾向にあります。



■ 福祉事業 | 健康づくりや疾病予防を効果的に推進する必要があります

- 特定健診受診率や特定保健指導実施率は横ばい傾向にあります。組合員一人ひとりが健康管理を意識し、健康な生活を送ることで医療費の抑制につながります。このためにも、限られた財源を有効に活用しながら、健康づくりや疾病予防に寄与する福祉事業を効果的に推進していく必要があります。

コラム
column

都共済の“社会貢献”と“地域連携”

- アジュール竹芝と箱根路開雲では、大規模災害後の被災者の受入れに協力しており、東日本大震災で延べ5,737人、熊本地震で延べ451人を受け入れました。
- 清瀬運動場では、育てた芝生を地元の小中学校、幼稚園に無償提供し、校庭等の緑化を通して緑の環境づくりに協力しています。



3つの目標と具体的取組

共済事業プラン2017では、計画期間中の4年間、皆さんの安心と健康生活をサポートする施策を積極的に展開し、以下に掲げる3つの目標の着実な実現を図ります。

目標1 いきいきとした毎日の「元気」を応援します

1 コラボヘルス ～職場と取り組む健康づくり活動

職場の健康づくり支援事業

- ・健診データ等を活用した健康情報を任命権者に提供するとともに、新たに「健康づくりノウハウブック」を刊行し、研修会も開催します。
- ・「からだ測定&アドバイス」など新たな訪問健康教室を開設し、各職場の取組を支援します。

メンタルヘルス事業

- ・こころの相談機能を強化するとともに、「ストレスチェック支援事業」を開始します。



2 もっと元気に、丈夫に ～スポーツ&アクティビティ事業の推進

体育施設事業

- ・スポーツクラブ利用助成の充実、清瀬運動場のランニングコースの整備などを進め、組合員の健康づくりを支援します。

スポーツ気運醸成事業

- ・東京2020大会を機に、保養・会館施設や体育施設で関連イベント等を開催し、組合員の気運を高め、スポーツ習慣づくりを推進します。



3 リフレッシュ&リラックス ～余暇を楽しむ宿泊&セラピー事業

委託保健施設

- ・設定エリア拡大や利用方法の改善を図るとともに、新たに春・秋季の施設開設を行います。

保養・会館施設

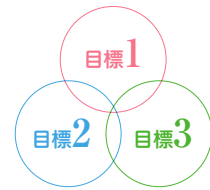
- ・箱根路開雲、アジュール竹芝について運営手法の改善や改修実施により魅力を向上します。

セラピー事業

- ・森林セラピーのほか、心身のリフレッシュに効果的な事業の実施を検討・試行していきます。



3つの目標と具体的取組



目標2 一人ひとりの「健康」づくりをサポートします

1 健診・検診の充実 ～生活習慣病の芽を摘む取組の推進

特定健診・特定保健指導の強化

- ・被扶養者の健診受診率を高めるためより効果的なPRやインセンティブ策を展開します。

人間ドックの利用促進

- ・「女性ドックキャンペーン」の拡充、「ペア割キャンペーン」の導入により利用を促進します。

がん対策の推進

- ・がん情報の発信、禁煙支援などに取り組みます。



被扶養者向けの健診案内冊子

2 シティ・ホール診療所 ～身近な医療の充実を

診療所の機能向上

- ・「オフィスドクター機能」を発揮するため、生活習慣病外来の設置や、診療所移転を契機とした診療体制の整備と機能の向上を進めます。

行政的医療機能の充実

- ・組合員の感染症対策として予防接種の啓発や接種を行うほか、大規模災害発生時には応急救護所としての機能を発揮します。



3 都共済22万人のデータを活かす ～データヘルスの推進

データヘルス計画の策定と推進

- ・検診データ等の分析に基づいて、健康課題の抽出と対策を実施します。

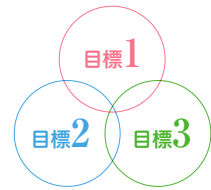
特定健診結果等に基づく受診勧奨の強化

- ・リスク保有者への個別通知を強化し、生活習慣病有病者の未受診率減少に取り組みます。

健康情報提供サービスの再構築

- ・ICTを活用し健康づくり習慣のきっかけとなる魅力的で使いやすいインセンティブ・プログラムや情報発信機能の強化に取り組みます。





目標3 将来にわたる暮らしの「安心」を支えます

① 医療費の適正化 ～実態の把握とより分かりやすい情報の提供

医療費分析等の実施

- ・組合員の疾病の実態や健康課題を「医療費分析」により明らかにし、重症化予防策を講じるとともに、適正受診の啓発により療養費請求や重複頻回受診の適正化を図ります。

医療費通知の実施と後発医薬品の使用促進

- ・医療費や健康に対する理解を深めてもらうため「医療費通知」の通知対象等を見直すとともに、後発医薬品の使用促進を図るため「切替差額通知」の内容を充実します。



現行の医療費通知
(40歳以上の組合員に年2回配布)



ジェネリック医薬品への切替差額通知

② 組合員・年金受給者サービスの充実 ～情報提供と相談体制の強化

被用者年金一元化に伴う制度改正への的確な対応

- ・日本年金機構等との連携を強化し、年金に係る諸手続の一層の円滑化・正確化を図ります。

年金に関する情報提供の充実

- ・年金制度に関するタイムリーな情報や、組合員一人ひとりの年金情報をきめ細かく提供します。

組合員・年金受給者に対する相談体制の強化

- ・「年金出前講座」を新たに実施するとともに、コールセンター機能の強化を図ります。



「共済だより」臨時号と「ねんきんだより」

特 集

都共済22万人のビッグデータを活かす！ 「データヘルス計画」の推進

データヘルスとは、保険者（共済組合や健康保険組合等）が保有する医療費や特定健診等の情報を活用し、加入者の健康づくりや疾病予防などの保健事業を効果的に実践する取組であり、国の成長戦略にも盛り込まれています。

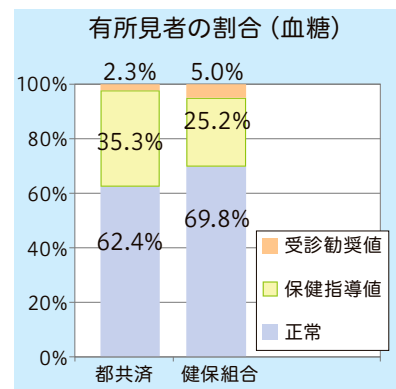
健診&医療費データから

健診データと医療費データとを合わせた総合分析結果から「受診勧奨判定値以上」であっても、医療機関を受診していない人が半数以上存在することが分かりました。

このため、「共済事業プラン2017」では、特に重症化リスクが高い人に対し、個別通知による医療機関の受診勧奨を進めていくこととしています。

総合的な血糖値対策の推進

組合員と被扶養者の健診データ分析から明らかになった「都共済では血糖値リスクが高い人が多い」という健康課題を踏まえ、「血糖値対策3か年計画（仮称）」により糖尿病の発症予防及び重症化予防に取り組みます。



2020年を元気に迎えよう！

都共済と東京2020オリンピック・パラリンピック

都共済の事業や施設を活用してメダリストによる講演会や競技種目についての啓発イベントなどを開催、東京2020大会成功に向けた組合員の気運の醸成を図っていきます。

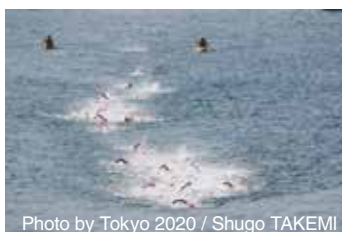
例

- ・清瀬運動場を活用したスポーツ大会（組合員のテニス・ソフトボール大会等）
- ・オリンピック・パラリンピック競技の体験イベント（ボッチャ・スポーツクライミング等）

また、東京2020大会を契機に組合員・家族がスポーツに積極的に取り組み、運動習慣が定着することにより、長く「健康」というレガシーになるよう支援していきます。

例

- ・スポーツに参加してポイントゲット！健康情報提供サービスのインセンティブ対象拡大
- ・バーチャルトライアスロン大会 ～スポーツクラブでスイム・バイク・ラン～
- ・箱根路開雲に泊まって参加する 箱根ハーフマラソン！ 箱根トレイルラン！



トライアスロン＜競技イメージ＞

これが
おすすめ!

キーワードで読む

共済事業プラン 2017

職場の健康づくりノウハウブック

コラボヘルスの一環として、各職場の健康づくりを都共済が支援します。安全衛生などの担当者向けのガイド本を初めて刊行!

健康職場をつくるためのノウハウをこれまでの優れた事例に基づきわかりやすく解説。

健診データ&医療費データの見方や活用法、**訪問健康教室**の開き方など、すぐにでも役立てられる情報が満載です。是非ご活用ください!



人間ドックキャンペーン

病気の早期発見・早期治療に効果的な人間ドック。都共済では利用助成を行うとともに、キャンペーンを展開しています。

女性ドックキャンペーンの助成額・期間・実施機関を拡充、乳がんや子宮がんの早期発見に寄与します。



「医療費のお知らせ」の充実

過去1年間の医療費を職場を通じてお知らせする**医療費通知**を拡充します。

通知対象を従来の「40歳以上」から「受診歴のあるすべて」の組合員世帯に、通知件数も60件から全件に拡大します。

インセンティブ・プログラム

PCで、スマホで、楽しく健康づくり!

検診結果や健康情報に手軽にアクセスできる都共済の**健康情報提供サービス**では毎日の歩数・体重の入力やウォーキングイベント参加など、利用するたびにポイントがたまり、**健康グッズ**と交換ができます。このサービスをリニューアルし、コンテンツやグッズの魅力度を高め健康づくりの取組を支援していきます。



年金出前講座

将来にわたる「安心」を支える年金。**被用者年金の一元化**などの制度改革がありました。職場などに向く出前講座(試行)により、年金をわかりやすく解説します。



変わる都共済の宿泊事業 ~組合員ニーズをとらえて~

夏・冬季施設のエリア拡大

人気の**夏・冬季施設**。28年夏季から北海道、中国・四国、九州・沖縄に設定。今後も青森、秋田、大分など未設置県に拡大します。



春・秋季施設の新設

ゴールデンウィークと紅葉シーズンに、**リフレッシュ施設**として近県に開設。都内では奥多摩「はとのす荘」に加え、檜原「兜家旅館」が登場!(29年秋)



保養・会館施設の改善

国内有数の観光地に立地し、9割近い稼働率の**箱根路開雲**。リニューアルにより更に快適で愛される施設を目指します。**アジュール竹芝**は、運営事業者が変わり安定的な経営が可能に。発展する浜松町・竹芝地区で今後とも組合員の活動やライフイベントをサポートします。

